

宇陀市立病院広報誌

SASAERU

Vol.

01

2017
autumn

秋

ささえる

優しさ、思いやり、温もりの心で
患者様に寄り添う医療現場に。



contents

- 01 院長・看護部長ごあいさつ
- 02 各科紹介 放射線科
- 03 地域包括ケア病棟について
- 05 連載コーナー 地域医療連携課
- 06 新任医師紹介

宇陀市立病院
UDA CITY HOSPITAL

院長ごあいさつ 宇陀市立病院 院長 仲川喜之

宇陀市立病院情報冊子「ささえる」発刊に際し

宇陀市立病院は昭和 29 年榛原町立病院として開院され、平成 25 年には新病院が竣工され、今年で設立 63 年を迎える伝統ある病院です。平成 26 年には開院 60 周年を記念し第 1 回病院まつりを開催し、以後、毎年の病院まつりには約 1000 名の市民の皆様に参加頂き、市立病院に対する愛着の深さを身の引き締まる思いで実感させていただいております。

この度、当院に関する医療情報を市民の皆様によりよく知っていただきたいとの思いから宇陀市立病院情報冊子「ささえる」を発刊させていただくことにいたしました。

「ささえる」には、宇陀市立病院の最新医療情報、職員紹介を始め、最新の薬情報、自宅でできる健康増進法など、市民の皆様の高関心の高い話題を取り上げ特集させていただこうと思っています。乞う、ご期待ください。

宇陀の方々が「安らかに生まれ」、「健やかに育ち」、「朗らかに働き」、「和やかに老い」、市立病院が近くにあると喜んで頂ければと夢を膨らませています。今後とも、市民の皆様に頼りにされ、市民の皆様も我々職員も誇りに思える病院づくりに努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



看護部長ごあいさつ

看護部長 西岡令子

医療の場が病院から在宅へ 一連携

「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができる」

宇陀の地域では包括的な支援・サービスの提供体制を整えています。ご自宅から入院された患者さんが退院され、再びご自宅での生活を送っていただくために、地域の開業医・訪問看護師・ケアマネジャー・介護福祉士・包括支援センター、院内では医師・薬剤師・栄養士・理学療法士・社会福祉士・そして看護師がそれぞれ専門的な視点で話し合い“連携”を行いながら、患者さんが安心して希望される退院に向けて、地域で支えています。

現在は、ご自宅での生活がスムーズに行っていただけますように、看護師・理学療法士が自宅に訪問をさせていただき、患者さんやご家族と共に患者さんの看護ケアやリハビリを行い、医療や介護が必要な方には看護の専門家の目で医師や関係機関と連携をとりたいと考えています。地域の基幹病院のスタッフとして、病院だけではなく地域の場に足を運び、患者さんが住み慣れた場所で生活できますように支援を行ってまいります。地域の皆様と共に支える“宇陀の医療”を、今後とも御協力をお願い致します。



各科紹介
放射線科

乳がん検診のすすめ！
女性技師が担当しています！！

がん新患者数、女性では乳がんが1位

新たにがんと診断される人は年間 100 万人以上と報告されています。男女別では男性は大腸、胃、肺、前立腺の順で、女性では乳房が最多で大腸、胃、肺、子宮の順に多くなっています。2017 年においては約 9 万人（11 人に 1 人の割合）の女性が乳がん罹患するという予測もされています。マンモグラフィ撮影による対策型の乳がん検診がはじまってから 17 年が経過しましたが、依然として乳がんによる死亡数も増加し続けており、女性の 30 歳から 64 歳では死亡原因のトップとなっています。乳がんは早期の発見と診断・治療が重要です。国の指針では 40 歳以上の方は 2 年に 1 回の乳がん検診の受診が勧められておりますが、昨年度の宇陀市の受診率は 22% という低い結果でした。乳がんは、自分自身の身近な病気であると認識し、定期的な乳がん検診を受診されることがとても重要です。



宇陀市立病院では早期発見・診断に繋ぐ環境整備として、本年 3 月に最新鋭のマンモグラフィ撮影装置（トモシンセシス搭載）を導入しました。さらに、乳がん検診の受診を推進するため、女性の診療放射線技師 2 名により毎日のマンモグラフィ検査体制を敷いています。是非ともお気軽に乳がん検診を受診してください。

また、乳がんの中にはマンモグラフィだけでは発見されにくいタイプもありますので超音波検査やトモシンセシス（断層撮影の三次元マンモグラフィ）、MRI 検査などを併用し、乳がんの早期発見の精度が高められるように尽力しております。検診に関するご不明な点については健診科にお気軽にお問い合わせください。

しこりや分泌物などの自覚症状がある場合は速やかに外科などを受診してください。

女性技師からひとこと

患者さん目線で誠実に。

本院での技師歴は 1 年とちょっとになります。私の仕事は患者さんの治療の一部になりますが、患者さんとのコミュニケーションがとても大切だと思っています。医師に話にくいことや何気ないお話をしっかり聞くことで、患者さんの気持ちを少しでも楽にできればと思います。また常に患者さんの目線に立って、お話をくださる方の目を見て話すように心がけています。

私たちの検診は、定期的な受診で自分も周りの人も安心できます。気負わずに受けて欲しいですね。

診療放射線技師
森本 奈穂子

いつでも笑顔でコミュニケーション！

技師歴は約 9 年、本院勤務は 4 年になります。私は人とのふれあいが好きで、患者さんとお話したり検査でサポートすることに、この仕事の喜びを感じています。撮影時は患者さん一人ひとり胸の形が違っているので、臨機応変に撮影することに難しさややりがいを感じますね。私はもともとカメラで撮影することが好きで、プライベートでは一眼カメラで旅先の景色や子供の写真を撮ったりしています。

私が心がけているのは、“いつでも笑顔”です。少しでも患者さんの手助けができれば嬉しいです。

診療放射線技師
奥田 静香

特集
コーナー

地域包括ケア病棟について



退院に向けて、患者様・ご家族の希望に寄り添いながら、チーム一丸となって支援させていただきます。



地域包括ケア病棟とは？

「地域包括ケア病棟」とは、急性期治療後の病状が安定した患者様に対して、安心して在宅復帰できる状態になるまでの支援を目的に医療や看護、リハビリを行う病棟です。心身が回復するよう医師や看護師、病棟専従の理学療法士により在宅復帰に向けて、治療・看護・リハビリを行っていきます。また看護師、病棟専従のソーシャルワーカーが患者様・ご家族の気持ちに寄り添いながら、退院支援・退院後のケアについてサポートさせていただきます。

どんな場合入院になるの？

一般病棟より地域包括ケア病棟へ転棟していただく場合は、主治医が判断し患者様とご家族に説明させていただきます。在宅復帰あるいは介護施設に復帰予定で、入院治療により症状は改善・安定・もう少し経過観察、在宅復帰に向けたリハビリテーション、在宅での療養準備が必要な方となります。

地域包括ケア病棟における退院支援

地域包括ケア病棟における退院（在宅復帰）とは、患者様の完全な回復というわけではなく、家庭生活に戻ることが可能な動作の復帰です。患者様とご家族が望む形での“退院後”を実現するために必要な看護・リハビリを実施していきます。疾患の改善のみではなく、退院後にご家庭で日常生活をおくることをゴールにしているのです。

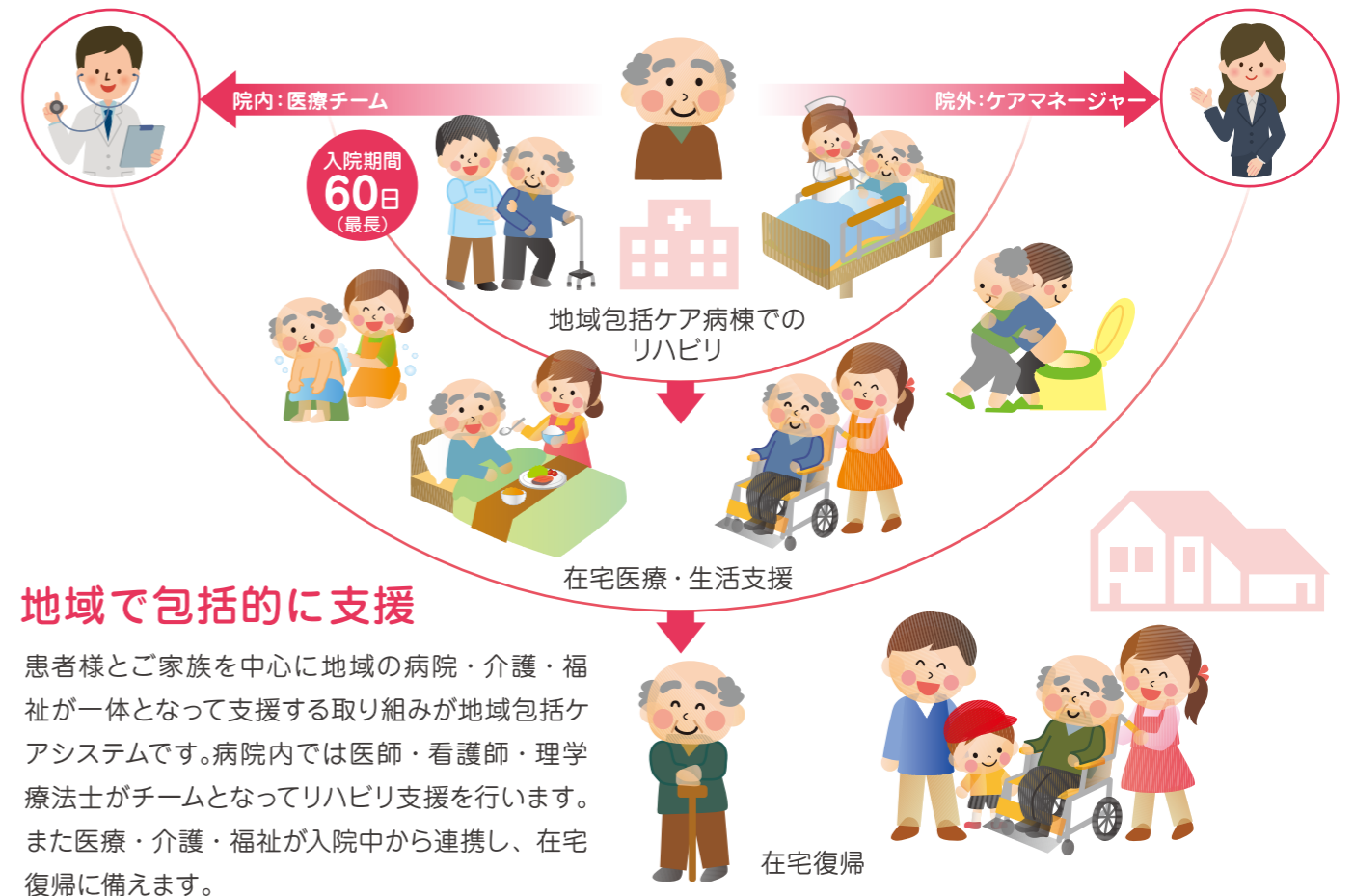
患者様・ご家族に寄り添って

地域包括ケア病棟では患者様の生活に深く密着し、退院後の具体的な生活を視野に入れて在宅復帰を目指します。退院を目指すのは普通の病棟でも同じですが、地域包括ケア病棟の退院支援とは低下した機能を本人やご家族が望む生活動作まで引き上げることです。患者様やご家族に寄り添いながら退院後の生活も安心して送れるよう、さまざまな申請や手配についてもサポートします。

地域包括ケア病棟で目指す3つのポイント

- Point 1 日常生活をおくる動作ができるようになること
- Point 2 患者様とご家族のご希望に添った生活を実現すること
- Point 3 患者様が生きる気力に満ちた笑顔になること

患者様を中心に院内・院外が連携してサポート



地域で包括的に支援

患者様とご家族を中心に地域の病院・介護・福祉が一体となって支援する取り組みが地域包括ケアシステムです。病院内では医師・看護師・理学療法士がチームとなってリハビリ支援を行います。また医療・介護・福祉が入院中から連携し、在宅復帰に備えます。

県下最大の地域包括ケア病棟

宇陀市立病院は、奈良県の地域包括ケアシステムのモデル地区としてシステムを構築し、県下最大となる87床の病床数で地域包括ケア病棟を運営しています。患者様にとっての総合的なコーディネーター役となり、現実的な在宅復帰を目指してそれに伴う課題を解決していきます。

患者様本人とご家族を中心に在宅復帰とその後の日常生活のイメージを共有して、病院スタッフ、医療ソーシャルワーカーやケアマネージャーなどが緊密に連携を取って在宅復帰に導きます。

スタッフからひとこと

私達は、患者様の気持ちに寄り添い、ひとりひとりを大切に看護させていただきます。そして、安心して退院していただけるようにチーム一丸となって支援していきます。



連載コーナー

地域連携課 vol.1



皆さんの
お困りごと、
ご相談の
窓口です。

月曜日～金曜日(祝日・休診日を除く)
午前9時～午後5時
Tel. 0745-85-1201(直通)

地域連携課は、宇陀市立病院内北館2階で開設しております。

地域の皆さん、こんにちは!

5名のスタッフが誠心誠意お手伝いいたします。

地域連携課って?

地域連携課は、地域にある他の病院・医療機関や患者様と本院とをつなぐ「地域医療連携」の窓口です。病気になると健康な時には気づかなかった心配事や問題が起こる事があります。こうした問題に関する相談を専門のケースワーカーがお聞きし、患者様やご家族様が安心して治療を受けて頂く環境作りのお手伝いをしています。

地域連携課のおしごと



✓ 特殊外来(肩・肘センター、骨粗しょう症外来、禁煙外来、睡眠時無呼吸症外来、発達相談外来)の予約を申し込みされる方の窓口

✓ 介護についてのご相談
✓ 在宅復帰・施設入所についてのご相談

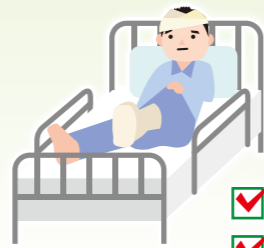


✓ 開業医からの患者紹介
✓ 専門の先生の受診依頼
✓ 救急患者の診察依頼



✓ 介護・福祉制度等についてのご相談
✓ 医療費の支払いについてのご相談

✓ 検査依頼 (CT、MRI、内視鏡等)



✓ 他病院からの受け入れ
✓ 専門病院への転院依頼

こんな時にご相談ください

夜間、救急車で自宅から遠い医療機関に入院してしまったり、近くの病院へ移りたいなどの不安や希望があれば、今入院されている医療機関へご相談して下さい。先方の病院の医療連携担当と連携させていただきます。

外来から入院、自宅退院までを社会福祉士と退院調整看護師が、病棟看護師と協働してお手伝いいたします。

病院の正面玄関横のホールにある患者サポート窓口もご利用ください。

新任医師 interview インタビュー



内科 丸山 直樹 医師

最先端医療も大事ですが、患者さんに寄り添った医療が一番大切だと思います。

Q: 医師として常に意識している事は何ですか?

A: 私は本院勤務の前は奈良県の基幹病院となる奈良県総合医療センターに8年間勤務していました。そこでCKD(慢性腎臓病)診療に携わり一番感じた事は、最先端の医療よりも患者さんに寄り添い、患者さんが自らを管理する予防医学の大切さです。本院でも生活習慣病予防を目指し、患者さんの生活に寄り添った医療を常に意識しています。

Q: 今後取り組みたい事は何ですか?

A: 生活習慣病の治療は、患者さんの生活に関わっていく必要があります。患者さんと地域の皆さんの生活に根差した医療チームで生活習慣病を予防したいですね。

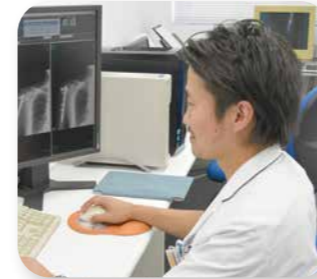
Q: 患者さんに向けてアドバイスはありますか?

A: 食事は楽しく!でも早いうちから検診を!



profile プロフィール

氏名 丸山 直樹
出身地 滋賀県
生年月日 1968年4月21日
血液型 A型
趣味 中学生の息子と海釣りに行くこと



profile プロフィール

氏名 藤井 修平
出身地 奈良県
生年月日 1986年5月30日
血液型 B型
趣味 ゴルフ・ゲーム

朝一番に病院に来て準備。日中はゆとりを持って診療するよう心がけています。

Q: 医師として常に意識している事は何ですか?

A: 整形外科医として単に疾患の治療をするのではなく、患者さんの人柄や生活をしっかり見て疾患に対する処置を決定していくようにしています。疾患の背景にある患者さんのストーリーを知ることで適切な治療ができると考えています。

Q: こだわっている事はありますか?

A: 忙しくなる診察時になるべくゆとりを持って診察できるように、本院では誰よりも早く朝一番に病院に来るようにしています。診察が始まる前に全ての準備を整えて診察に臨んでいます。

Q: 自分のアピールポイントは何ですか?

A: 真面目に愚直に一生懸命なところです!



整形外科 藤井 修平 医師

特殊外来紹介

骨粗しょう症外来 (完全予約制)

電話予約 ▶ 地域連携課 0745-85-1201

来院の場合は総合受付でお問い合わせください。

骨粗しょう症とは、骨の中がスカスカの状態となり、骨がもろくなる病気です。骨粗しょう症により骨がもろくなると、つまづいて手や肘をついたり、くしゃみをしたなどわずかな衝撃で骨折することがあります。直接的に生命をおびやかす病気ではありませんが、骨粗しょう症による骨折から、介護が必要となる方も少なくありません。

骨粗しょう症の発症には加齢だけでなく食事や運動の習慣などが深くかかっています。骨粗しょう症を心配しておられる方、特にちょっとしたケガで骨折したことがある方、背骨や股関節を骨折された方がご家族におられる方、ステロイドを内服されている方などは受診してください。



診察場所: 整形外科外来

木曜日	午前10時～正午	藤井医師
木曜日	午後1時～4時	仲川院長
金曜日	午前10時～正午	井上医師

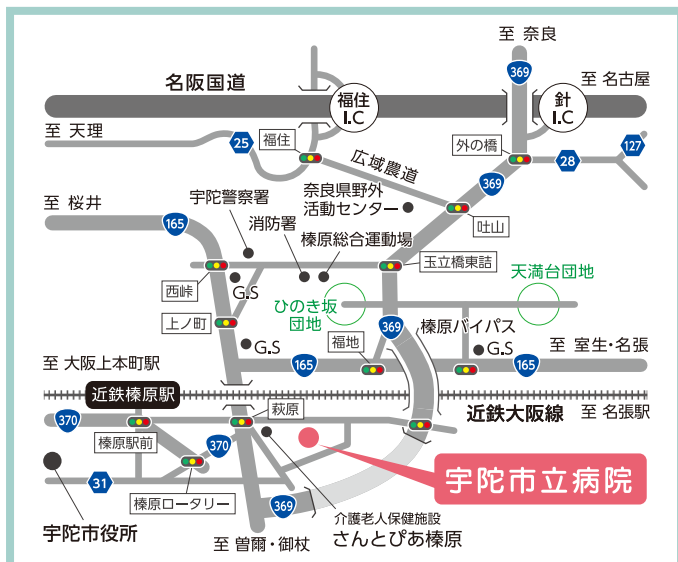
外来診療日程表

初診受付及び予約外の診療受付は、午前8時から午前11時までとなっています。

休日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで 平成29年10月1日現在

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 循環器内科 消化器内科	1診		杉原	杉原	平井	椎木
	2診	しいき 椎木	松倉	椎木	椎木	松倉
	3診		松島	丸山	丸山	前川
	4診		花谷(消化器)	林	林	林
	初診	たなべ 田邊	川島	松島	大森	松島 2,4週診察 丸山 1,3,5週診察
午後	ペースメーカー外来 松倉(予約) 第2月曜日 午後2時~3時	腎臓外来 椎木(予約) 毎週 午後2時~3時			糖尿病教室 木曜日(指定日)午後2時30分~ 北館2階 栄養指導室 禁煙外来 木曜日(予約制)午後2時~	
外科		中辻	越智	中辻	中辻	中辻
婦人科	午前	休診	ななみち 南淵	南淵	休診	南淵
	午後		更年期外来(予約制)	更年期外来(予約制)		南淵(予約)
整形外科	1診 & 奈良肩肘センター	もんとり 水撮(予約)	【午前】 水撮(予約)	仲川(一部予約含)	水撮(一部予約含)	仲川(予約)
	2診	竹嶋(一部予約含)	竹嶋(予約)	奥本(一部予約含)	井上(予約)	奥本(予約)
	3診	島岡(一部予約含)	門野(予約)	島岡(予約) 2,4週診察	澤井(一部予約含)	江川(一部予約含)
	4診	澤井(予約)	島岡(一部予約含)		藤井(予約)	井上(一部予約含)
	5診	藤井(一部予約含)	担当医		【午後】 仲川(予約)	
耳鼻咽喉科		木村 補聴器外来 第2,第4月曜日 午前中(予約)	休診	伊藤	休診	金田 第2金曜のみ 午前10時30分から診察
眼科	1診	安森	安森	担当医	丸岡 診察受付は10時30分まで	安森
皮膚科	午前	宮川	白井	休診	しまさき 巖崎	しょうばけ 正島
神経内科	1診	じゅうお 拾尾	拾尾(新患)	塩田	拾尾	拾尾
	1診特別外来	【午後】(予約制)	【午後】(予約制)		【午後】(予約制)	【午後】(予約制)
泌尿器科		夏目	夏目	夏目	夏目(新患のみ) 診察受付は10時30分まで	中井
小児科	午前&午後	岸本	矢田	岸本	岸本	岸本
	予防接種 午後1時~2時	予約制	予約制	予約制	発達相談外来 木曜日(予約制) 午後1時~2時	予約制

- 整形外科の(予約)は、一度診察されて、再診が必要な患者様が予約されている日となります。
- 整形外科では、昼からの診察を電話予約することができます。受診される当日の8時30分から10時00分までの間にお電話をくださいますようお願いいたします。ただし、予約人数(予約枠)には限りがありますので、満員となった時点で、予約受付を終了します。また手術等により、当日の電話予約が中止になる場合がありますのでご了承ください。
- 小児科の診察は、小児科携帯予約システムで予約することができます。
- 小児科の午後診察は午後2時開始で、午後1時から午後4時まで受け付けています。



電車でお越しになる場合

近鉄大和線 榛原駅より徒歩約7分

- 近鉄上本町駅 急行約53分 → 近鉄榛原駅 徒歩約7分 → 宇陀市立病院
- 近鉄名張駅 急行約16分 → 近鉄榛原駅 徒歩約7分 → 宇陀市立病院

車でお越しになる場合

名阪国道 針インターチェンジから車で約20分

宇陀市立病院

〒633-0298 奈良県宇陀市榛原萩原 815 番地
<https://www.city.uda.nara.jp/udacity-hp/>

Tel. 0745-82-0381